

谷川岳登山道整備2026

活動報告

・

参加者アンケート結果

谷川岳 登山道整備：実施概要

実 施 日 : <事前学習> 2026年 7月 28日 (金) 19:00-20:00

<整備本番> 2026年 8月 6日 (木) 9:00 - 15:00

主 催 : 群馬県自然環境課 | 谷川岳エコツーリズム推進協議会

協 力 : 環境省谷川管理官事務所 | みなかみ町観光商工課 | 株式会社 山屋

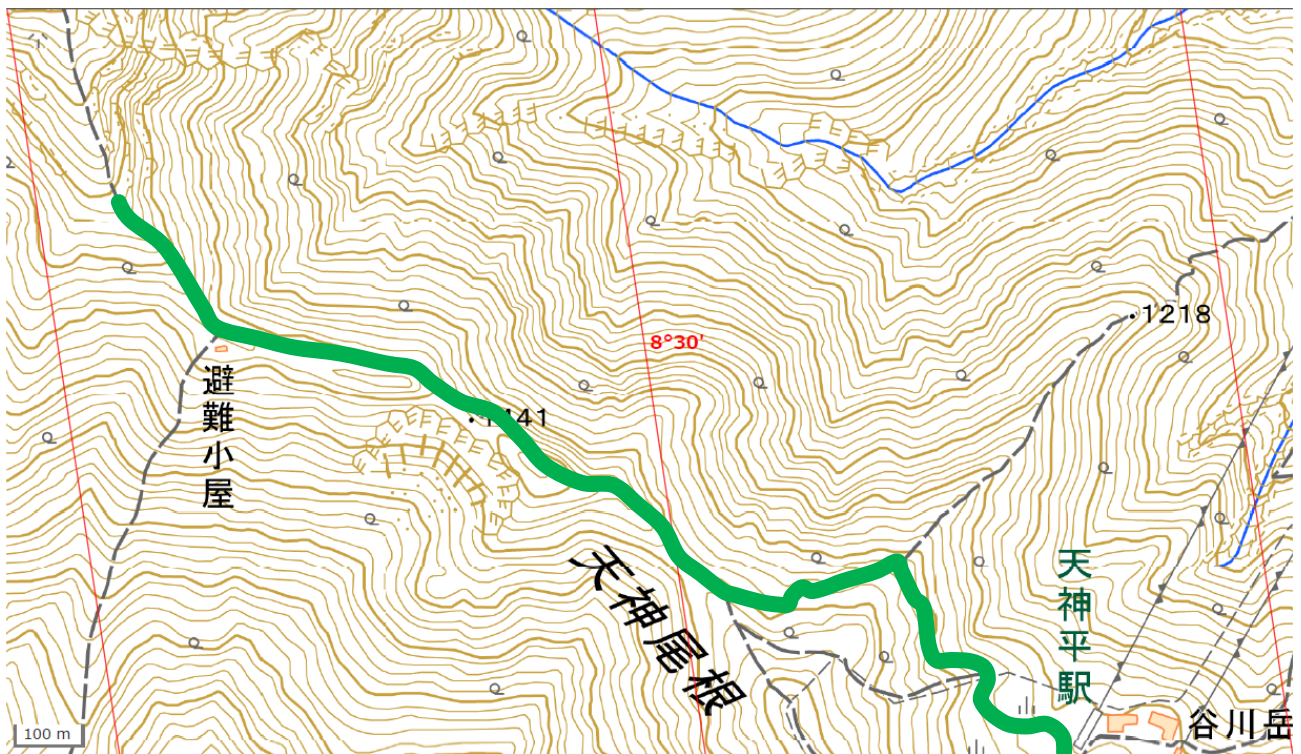
実 施 場 所 : 天神平から熊穴沢避難小屋までの区間 (下図 緑色のラインの部分)

実 施 概 要 : ① 土砂が詰まり機能不全に陥っている側溝を掘り出す (優先度高い箇所)
② 常に水たまりができる箇所にて、ぬかるみ対策を施す
③ 段差の大きくなった箇所にステップを構築し、複線化防止の措置をする

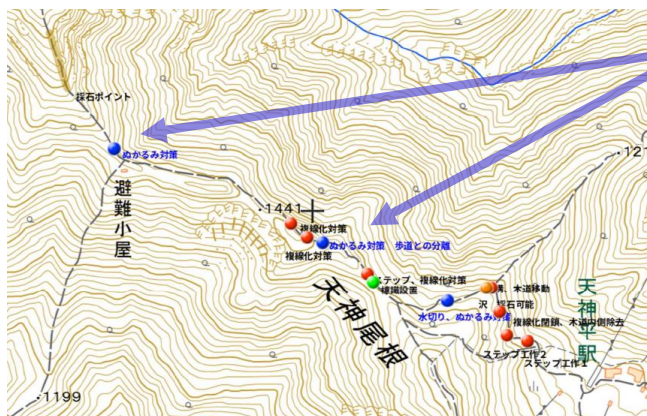
募 集 方 法 : 群馬県公式WEBサイト 及び YAMAP公式アカウントにて 一般参加者を募集した

参 加 者 : **計 31名**

⇒ (一般) 18名 (関係者) 13名



■ 実施報告- 1 回目：ぬかるみ対策



<活動場所>

熊穴沢避難小屋 上部のぬかるみポイント
登山口⇄避難小屋の中間点にあるぬかるみポイント

<現状>

晴天時であっても水たまりが残ってしまい
濡れることを嫌がる登山者が登山道脇を
歩くことにより植生後退が進んでいた

<活動内容>

水切り
石埋設作業

◇ 整備前



- ・晴天時でも登山道上に水たまりが残ってしまう箇所
- ・靴が汚れることを嫌う登山者が、水たまりを避けて歩くことで登山道両脇の植生が後退している

◇ 整備中



- ・水の流れ道を観察～検討し、排水する位置を決定した
- ・周囲の植生をまもるため、雨天時でも登山者が歩けるように登山道上に石を敷き詰めた
- ・設置した角材が登山者の踏圧で動かないよう、石で固定した

■ 実施報告 1 回目：ぬかるみ対策

◇ 整備前（熊穴沢避難小屋の上部）



◇ 整備後（熊穴沢避難小屋の上部）



【使用した資材】

- ・周囲の石、小砂利
- ・角材
- ・土嚢袋（石の運搬）

【期待する効果】

- ・水が排水路を流れることで水たまりができるのを防ぐ
- ・雨が降ったとしても、石の上を歩けば足場が確保される（靴が濡れない）ことで登山道を外れて歩く人が少なくなる
⇒ 植生の後退に歯止めをかけたい

【今後】

- ・定期的なモニタリングをする（特に大雨の降った後の道の状況を確認する）

■ 実施報告- 1 回目：ぬかるみ対策

◇ 整備前（登山口⇄熊穴沢避難小屋の中間点）



◇ 整備後（登山口⇄熊穴沢避難小屋の中間点）



【使用した資材】

- ・周囲の石、小砂利
- ・角材
- ・土嚢袋（石の運搬）

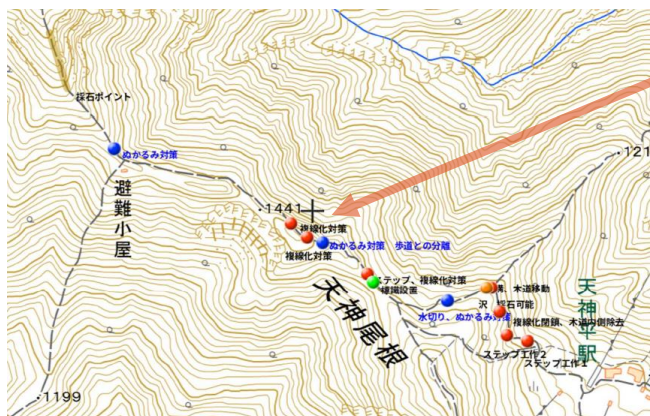
【期待する効果】

- ・水が排水路を流れることで水たまりができるのを防ぐ
- ・雨が降ったとしても、石の上を歩けば足場が確保される（靴が濡れない）ことで登山道を外れて歩く人が少なくなる
⇒ 植生の後退に歯止めをかけたい

【今後】

- ・定期的なモニタリングをする（特に大雨の降った後の道の状況を確認する）

■ 実施報告-1回目：ステップ構築・複線化対策



<活動場所>

熊穴沢避難小屋までのルート上に複数ある
段差の大きな箇所および複線化した箇所

<現状>

高いところで20cm以上の段差があり
登山者が木道横を歩くことで植生後退が進んでいる

<活動内容>

ステップ構築・複線化対策

◇ 整備前



- ・ 昨年ステップを構築したものの、利用が進んで
おらず複線化に歯止めがかかっていない箇所

◇ 整備後



- ・ 更に1段ステップを構築し段差を解消
- ・ 複線化防止のため倒木を横に配置した

◆ 期待する効果：複線化防止

◇ 整備前



- ・ 土の流出と、張り巡らされた木の根の状況
から歩きにくくなっていた箇所
- ・ そこを多数の登山者が歩くことで、さらに
土が流出し、木の根も傷つく

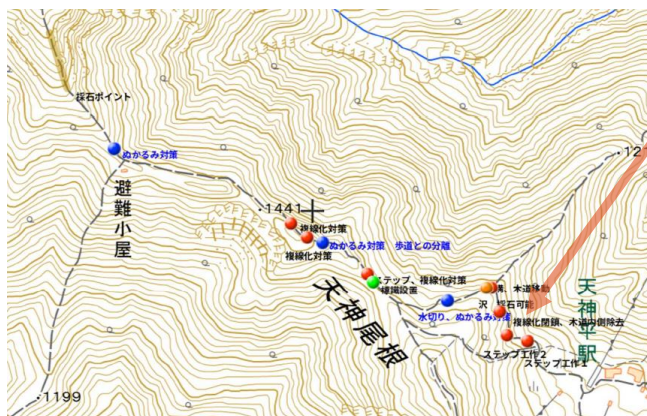
◇ 整備後



- ・ 1段ステップを構築
- ・ 側溝から掘り出した土砂で作った植生土嚢を
活用することで、植生回復を期待する

◆ 期待する効果：安全性確保、植生回復

■ 実施報告-1回目：ステップ構築・複線化対策



<活動場所>

登山口から天神峠分岐までのルート上に複数ある段差の大きな箇所および複線化した箇所

<現状>

高いところで20cm以上の段差があり
登山者が木道横を歩くことで植生後退が進んでいる

<活動内容>

ステップ構築・複線化対策

◇ 整備前



- ・木製階段の1段目の板が外れた箇所
- ・階段下の地面からの段差も大きく危険を伴う
- ・段差が高いため、複線化が起ころし始めている

◇ 整備後



- ・階段下に1段、板の外れた箇所に1段、計2段新たなステップを構築した

◆ 期待する効果：安全性確保、複線化防止

◇ 整備前



- ・蛇簍から石が流出し、木製階段までの段差が20cm以上ある箇所
- ・登山者が登山道の横を歩くことで植生が大きく後退した

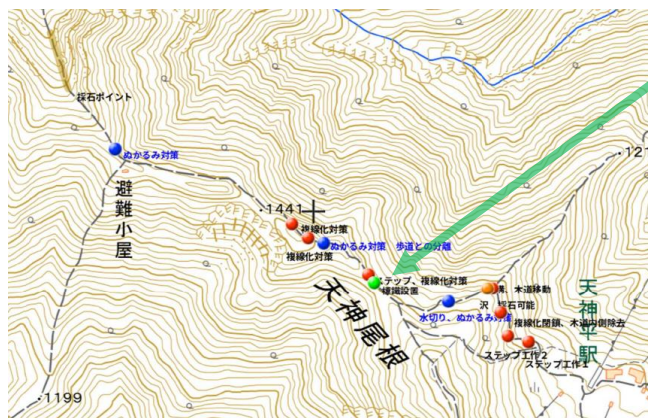
◇ 整備後



- ・段差の解消および危険な蛇簍を隠すために、大きなステップを3段構築した
- ・複線化防止のため木道右横に倒木を配置した

◆ 期待する効果：安全性確保、複線化防止

■ 実施報告- 1 回目：側溝掘り



<活動場所>

田尻尾根との分岐周辺にある側溝

<現状>

土砂が詰まり、側溝の機能を果たしていない。流れる先を失った水が登山道上を流れることにより、登山者が水を避けて歩くため、周囲の植生が後退し道が拡大している

<活動内容>

土砂の掘り起し
掘り出した土砂をステップ班に歩荷する

◇ 作業前



- ・土や石が詰まり水が流れなくなった側溝
- ・行き場を失った水が登山道上を流れ、水を嫌う登山者が登山道横を歩くため植生後退を招く

◇ 作業後



- ・土が非常に硬く、ほぐすまでが大変だった

◇ 作業前



- ・昨年掘った側溝
- ・新たに土砂がたまっていたため掘った

◇ 作業後



- 【使用道具】 じょれん、剣スコ、のこぎり、鋏
- 【期待する効果】 水が側溝内を流れる
- 【今後】 定期的なモニタリングと側溝機能の回復

■ 実施報告- 1 回目：側溝掘り

◇ 作業前



- ・ 昨年掘った側溝
- ・ 新たに土砂がたまっていたため、掘った

◇ 作業後



- 【使用道具】じょれん、剣スコ、のこぎり、鋏
- 【期待する効果】水が側溝内を流れる
- 【今後】定期的なモニタリングと側溝機能の回復

◇ 作業前



- ・ 天神尾根登山口を歩き始めてすぐの箇所にある木道
- ・ 左側にある沢から流れて来る水は、本来木道の下を流れる設計となっているが、木道下の水路に土/枝/落ち葉/石などが詰まっているため、行き場を失った水が木道上を流れて危険な状況

◇ 作業後



- ・ 木道下の土砂が詰まって空間がない状態だったが土砂を掘り出し、水の通り道を復活させた

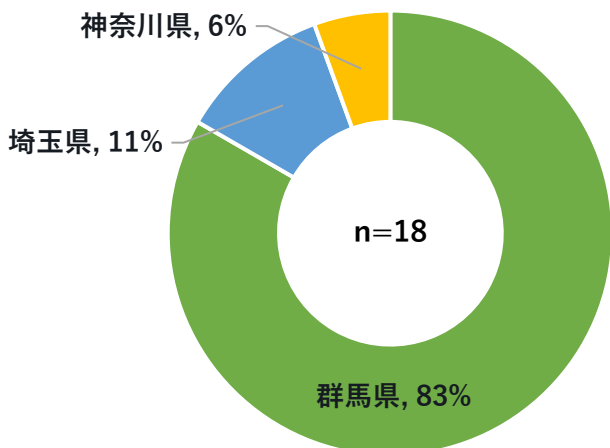
- 【使用道具】じょれん、剣スコ、のこぎり、鋏
- 【期待する効果】水が側溝内を流れる
- 【今後】定期的なモニタリングと側溝機能の回復

■ 実施報告- 1 回目：歩荷班 | 活動全体

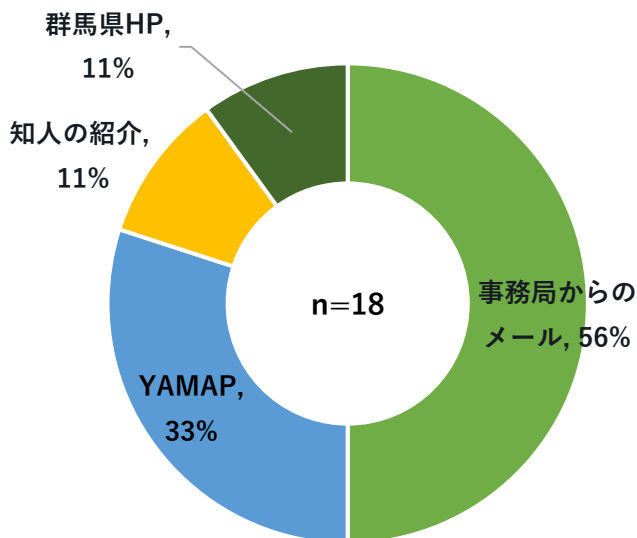


谷川岳 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【1】居住地



【2】参加のきっかけ



【3】参加しようと思った理由

* 自由記述

昨年
から

前回は参加させて頂き大変勉強になったから
平標の方で参加してから、谷川もしてみたいと思ったから。
ワーキンググループ所属のため

谷川
岳へ
の感
謝

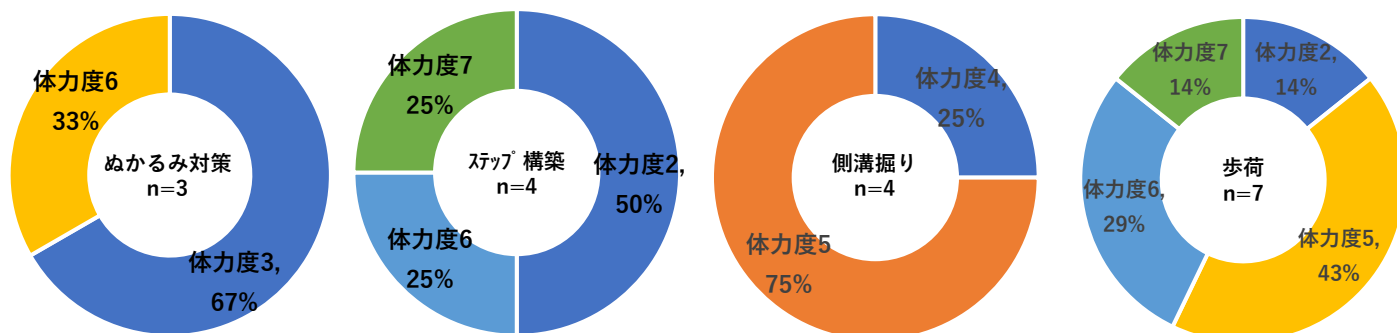
自宅が近く良く登っている山なので
思い出のあるみなかみ町に少し恩返しが出来ればと思って参加させていただきました。
私にとっては世界一好きな山で、いい山であって欲しいと思い続けていました。
前回は参加したかったのですが日程が合わず、今回ようやく参加することができました。
谷川岳が好きなので、登山道整備に関わることでより愛着が湧くと思ったから。
あと、「この道、直したんだぜ!」と仲間に自慢したい。
谷川岳の登山道整備には長く関わっていきたいと思っているため

登山
道整
備へ
の興
味・
関心

自分たちの(=ふるさとの)登山道を自分たちで守る活動に興味があるため。
いつも登る山の登山道整備に関心があったため。また歩荷をできる良いチャンスだったから。
傷んだ登山道をどのように補修しているのか知りたかった。
素晴らしい谷川岳の自然を楽しみに来た方々の利便性(歩き易い)向上に協力できれば、と。
登山道に関する勉強のため
登山道整備に興味があり活動をしていきたいため
以前から登山道の整備に興味がありました。
いつも歩いている登山道を修復したいと思ったから
登山道修繕を学びたい。去年の修繕の経過を見たい。

谷川岳 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【1】活動内容 – 主に担当した活動の体力負荷について



【2】活動内容 – 特に大変だった内容

* 自由記述

■ぬかるみ対策：

シャベル等道具が足りずに手持ち無沙汰に時々なってしまった

■ステップ構築・複線化対策：

資材を上げたり下げたりする作業

石運び

強固な石組を考えること

■側溝掘り：

材木40cm程を手で抱えて運んだ際、歩き難いのでリュックに入れるか背負子を使えばよかった

どのように・どこまで進めればいいのかの判断に迷うことが多かったように思います

石の混じった登山道を掘るのは、スコップが石に弾かれて、けっこう大変だった

材木を作業箇所まで運びましたが、手で抱えて歩きました。足元に気をつけて歩かなければいけないし、バランスが取りにくい。自分用の背負子を持ってくればよかったと思いました。

■歩荷：

日差しが出ると暑かった

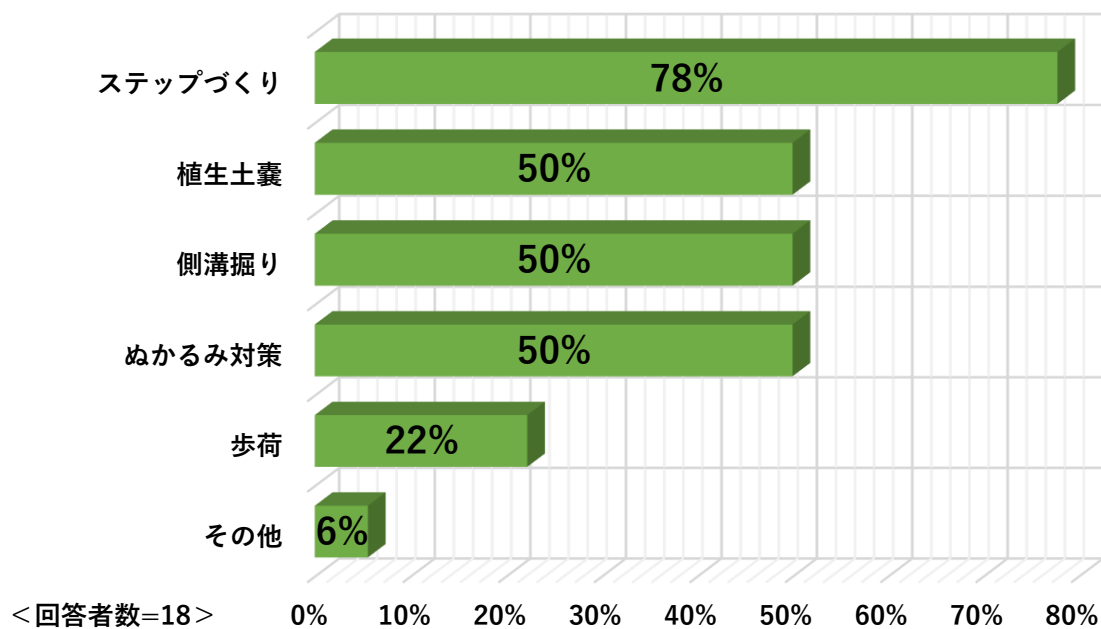
だんだん近場の石を採り尽くして、採石場所が遠くなったこと
自分の荷物が遠く、作業中の水分補給がしづかったこと

歩荷の距離が長かった

谷川岳 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【6】今後、体験／実施してみたい活動

* 複数選択可



【7】活動全体をとおして気づいたこと・ご意見

むかみ対策の班にはスコップがあと数本あるといい

資材関係

いろいろな職種・年齢・男女の集まりなので、意外と面白かった!!
材料・道具がある程度用意されていたようだが、各班の状況に合わせて、
せっかく用意した道具が配置されていないような感じ! ?
忙しい人達が各リーダーを務めているせいか、
細かい部分の把握は一部の人達だけしか承知していなかったような気がします!!

使う場所が分かっている資材は、行きでその場所に置いていけると体力温存になる

班編成

登山道が狭く、登山者の通行の度に少しの距離を下ったり、登ったりしなければなりませんでした。
一つの班の人数がもう少し少なければ、そのような機会も少なくなると思うので、
班をもう少し細分化しても良いのではと思いました。

谷川岳 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【7】活動全体をととして気づいたこと・ご意見

必要な道具は全て準備して頂いていますが、それらを使った作業の様子を、事前の講習で見せてほしい
そうすれば、役に立つ道具や作業の程度がわかるし、参加不参加の意思決定にも参考になる

- ①作業の様子を動画で見れるようにすると、自分に出来るかどうか不安に思っている人の参考になる
- ②参加者の感想などアップすると、参加した人、来年参加しようと考えている人の参考になる

当日の作業予定場所や採石場などがプロットされた地図があると助かります！
言葉だけだと伝わりにくいところあると感じるためです

登山道整備の考え方や、管理者不明の問題など、いろいろ勉強になりました。
これから登山をするときの視点が変わると思います。
特に登山が雨の日にも当たっても、観察する楽しみができたことが良かったです！
今回整備した箇所がこれからどうなるのかも、楽しみに観察したいと思います。

- ・荷物から離れて作業をしていたので、ペットボトルを携行するためのストラップやポーチ等を持参したら便利だと思いました。
- ・作業でその場にとどまっているときのアブの群がり方が想像以上で、歩いているときとは全然違いました。虫除け対策についてもっと強めの案内があるといいと思います。

来年もまた参加したいです。大変お世話になりました。ありがとうございました！

- ・ 木道整備
- ・ 登山道整備におけるイロハ講習会
(現状課題やこのように整備するとよいなどの座学、実践は活動の中で学ぶ機会があると尚良い)
- ・ 活動の回数(作業する機会)を増やしてほしい
体験者がリピートで作業できる機会が2-3ヶ月に1回くらいの頻度であると嬉しい

長期で活動を継続していくことが大事、とのことなのでまたの機会にも参加できたらと思っています。
準備などは大変かと思いますが、このような企画を実施いただきありがとうございます。

谷川岳 登山道整備：1 回目 - 参加者アンケート

【7】活動全体をととして気づいたこと・ご意見

- もうすでに植生（苔や菌類）が根付いている石まで取って、埋める用に使うのはどのようなかなと考えた。
- 色々な場所で修繕に参加して感じることは、同じ現場、地域だけで修繕活動をしているだけでは、施工方法や考え方がワンパターンになりがちです。
広い視野を持ち、柔軟な発想を展開しながらも、地点ごとに整備の1 番の目的を伝えられる人を育てられるか？それに向き合える人材を、この様な活動を通して展開できたら良いと思います。

その他

または是非参加したいです

もっと直したい所が沢山あると気が付きました

急遽の参加でしたが、今回の登山道整備を通じて貴重な経験や知識を得ることができました。
あまり力になることはできませんでしたが、機会があればぜひ参加させていただきたいです。

いっぽずつ、すこしずつ🌱

